

目 次

まえがき	1
開会挨拶 指宿 信 (成城大学教授)	5
基調講演	11
多言語・多文化時代の取調べと可視化 稲葉 光行 (立命館大学教授)	
招待講演	21
面接技法の向上—被疑者取調べの録音録画がもたらす間接的效果— 仲 真紀子 (北海道大学教授)	
第一部 オーストラリアにおける可視化導入以降の取調べ室での取調べ…	37
司会：指宿 信 (成城大学教授)	
報告1：Effective social interviewing techniques in high stakes cases: Interviewers' and detainees' experiences ジェーン・デラハンティ (チャールズ・スタート大学教授)	
報告2：Audio-visual Recording of Police Interrogation デイビッド・ディクソン (ニューサウスウェールズ大学教授)	
コメント・質疑応答 コメンテーター：秋田 真志 (弁護士・京都弁護士会)	
第二部 韓国における可視化以降の実践的問題と心理学的課題	71
司会：山田 直子 (関西学院大学教授)	
報告1：Interrogation videorecording in the new Korean Criminal Procedure Code and the practical Problems with their Performance パク・ノソプ (ハンリム大学教授)	

報告2：Video Recording of Suspect Interviewing in Korea:
Its Lessons and Future Directions

ジョ・ウンキョン（ハンリム大学教授）

コメント・質疑応答

コメンテーター：遠山 大輔（弁護士・京都弁護士会）

第三部 日本における可視化以降を見据えた法学的・心理学的課題…………… 103

司会：中島 宏（鹿児島大学教授）

報告1：取調べはどのように失敗するのか？

～録画・録音記録を用いた相互行為分析の可能性～

高木光太郎（青山学院大学教授）

報告2：日本における取調べ可視化の現状と課題

渕野 貴生（立命館大学教授）

コメント・質疑応答

コメンテーター：小坂井 久（弁護士・大阪弁護士会）

第四部 全体討議…………… 143

司会：指宿 信（成城大学教授）

指定発言者1 浜田寿美男（立命館大学教授）

指定発言者2 仲 真紀子（北海道大学教授）

閉会挨拶 サトウタツヤ（立命館大学教授）…………… 162